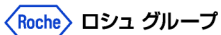




CHUGAI



ロシュ グループ

中外製薬グループ 中期環境目標2030および実績

環境保全活動目標／計画および実績

- ＜対象範囲＞ 中外製薬グループ
- ＜対象期間＞ 実績：2024年1月1日～12月31日
計画：2025年1月1日～12月31日
- ＜対象項目＞ 気候変動対策
循環型資源利用
生物多様性保全
環境マネジメントシステム

創造で、想像を超える。



1. 気候変動対策（地球温暖化防止）



	中期環境目標2030	2024年 目標/計画	2024年 実績	2025年 目標/計画
	※基準年 2019年			
スコープ1 + 2 CO ₂ 排出量 (エネルギー起源)	2025年：40%削減 2030年：60～75%削減 2050年：排出ゼロ	進捗状況のモニタリング, 情報開示	52.2%削減 CO ₂ 排出量 53,895トン	2025年：40%削減
スコープ1 + 2 エネルギー消費量	2025年：5%削減 2030年：15%削減 (延床面積あたり)	進捗状況のモニタリング, 情報開示	12.3%削減 エネルギー消費量 2,275 TJ 延床面積あたり消費量 6.3 GJ/m ²	2025年：5%削減
スコープ3 CO ₂ 排出量	2030年：30%削減	進捗状況のモニタリング, 情報開示	1.5%増加 全カテゴリCO ₂ 排出量 981,329トン	進捗状況のモニタリング, 情報開示
サステナブル電力 比率	2030年：100%削減	2025年1月からサステナブル電力 比率100%調達できるよう、 2024年末までに調達方法確立	97.3%	100%
フロン類使用量	2025年：25%削減 2030年：全廃 ※基準年 2020年	進捗状況のモニタリング, 情報開示	16.8%削減 フロン排出量 37,027トン	2025年：25%削減
営業車両 総燃料使用量	2025年：35%削減 2030年：75%削減	進捗状況のモニタリング, 情報開示	45.7%削減 営業車両総燃料使用量 22,876 GJ	2025年：35%削減

2. 資源循環型利用（省資源・廃棄物対策）



中期環境目標2030	2024年 目標/計画	2024年 実績	2025年 目標/計画
------------	----------------	-------------	----------------

※基準年 2019年

廃棄物排出量	2025年： 5 %削減 2030年： 1 0 %削減 (延床面積あたり)	進捗状況のモニタリング, 情報開示	1 1.6 %削減 排出量 3,347トン 延べ床面積あたり排出量 9.3 kg/m ²	2025年： 5 %削減
廃棄物再資源化率	—	新KPIに基づく情報開示 および達成に向けた施策推進	新KPI作成	新KPIに基づく情報開示および 達成に向けた施策推進
プラスチック 廃棄物排出量	2025年： 5 %削減 2030年： 1 0 %削減 (延床面積あたり)	進捗状況のモニタリング, 情報開示	1 4.3 %削減 排出量 549トン 延べ床面積あたり排出量 1.43 kg/m ²	2025年： 5 %削減
産業廃棄物 最終処分率	—	2 %以下	0.1 %	2 %以下
廃棄物処理委託先の 確認	—	実施率： 3年(2024-2026年)で1 0 0 %	実施率： 3年で1 0 0 %	実施率： 3年(2024-2026年)で1 0 0 %
水消費量（取水量）	2030年： 1 5 %削減 (延床面積あたり)	進捗状況のモニタリング, 情報開示	2 1.7 %削減 水取水量 1,939トン 延べ床面積あたり取水量 5.4 kg/m ²	進捗状況のモニタリング, 情報開示

3. 生物多様性保全（環境負荷低減）



	中期環境目標2030	2024年 目標/計画	2024年 実績	2025年 目標/計画
	※基準年 2019年			
有害化学物質使用量 （SVHC）削減	2021年以降、 開発候補となる全ての自社品は、 商用生産までにSVHCリスト 化合物を使用しない 製造プロセスを構築する	SVHC使用に関するガイドライン に基づく運用	SVHC使用に関するガイドライン に基づいた有害化学物質使用量の 削減状況をモニタリング	SVHC使用に関するガイドライン に基づく運用
有害廃棄物排出量削減	2025年： 5%削減 2030年： 10%削減 （延床面積あたり）	進捗状況のモニタリング、 情報開示	0.4%増加 排出量 985トン 延べ床面積あたり排出量 2.7 kg/m ²	2025年： 5%削減
水質汚濁防止	—	該当する全事業所で WET(Whole Effluent Toxicity)試験 実施率100%	WET試験による排水測定の実施 （4事業所/年1回）	該当する全事業所でWET試験実施率 100%
排水中の化学物質 （リン、窒素等）量 削減	—	国内法を遵守	国内法を遵守	国内法を遵守
生産拠点の 水源保全活動	—	年1回以上実施	藤枝工場の水源林、浮間事業所の水 源林で間伐活動を実施	年1回以上実施
環境影響総合指標導入	—	ロシュ手法を含む評価方法を調査し、 導入を検討	環境影響総合指標の導入を検討	環境影響総合指標による モニタリング評価

4. 環境マネジメントシステム

中期環境目標2030	2024年 目標/計画	2024年 実績	2025年 目標/計画
------------	----------------	-------------	----------------

環境マネジメントシステムの質的向上	—	E H S 内部監査を 4 事業所以上で実施	E H S 内部監査を 5 事業所で実施	E H S 内部監査を 4 事業所以上で実施
社外評価向上	—	C D P : A 評価取得	C D P 気候変動 : A 評価取得 水セキュリティ : A ⁺ 評価取得	C D P : A 評価取得
環境パフォーマンスデータ 第三者保証範囲拡大	—	環境パフォーマンスデータの 第三者保証範囲の拡大	海外販社の取得データ拡大	環境パフォーマンスデータの 第三者保証範囲の拡大

創造で、想像を超える。



CHUGAI

中外製薬



ロシュ グループ